

防コミの歩き方



兵庫管内における北西部4防コミ合同訓練について

●北西部4防コミ発足の経緯

平成10年9月22日、台風7号の集中豪雨によって、震災復旧の工事中であった新湊川が洗心橋付近であふれ、付近の土地が低いところで浸水被害が起きました。

また、平成11年6月29日にも梅雨前線による豪雨で洗心橋付近があふれ、東山商店街を中心に被害が生じました。

大規模な災害が発生すると、1防コミのみの活動では困難を生じました。そこで、隣接防コミとの連携が必要であると感じ、ひよどり地区・熊野地区・東山地区・菊水校区（順不同）の北西部4防コミが合同で訓練を実施することとなりました。



（平成11年6月29日、洗心橋付近の様子）

●北西部4防コミ合同訓練

北西部4防コミ訓練は、毎年秋頃に実施しています。各年4防コミが順に訓練を担当することで、訓練内容もその担当する防コミの特色が表れています。また、防コミのみにとどまらず婦人会、PTA、学校といったさまざまな団体に対して、合同訓練

に参加するよう積極的な呼びかけをおこなっており、徐々に規模が拡大しています。



（平成27年度の4防コミ合同訓練の様子）

平成28年度は、ひよどり地区が4防コミ訓練の担当となっています。森田委員長は、「いざという時はみんなの力が必要なので日頃から顔の見える活動をおこないたい」と述べて、今年度はPTAのお父さん方にも強く参加を求めています。今後、参加者が増え、さらに活気あるものとなることを願います。

（兵庫消防署消防防災課 先田祐輔）